

平成 30 年度第 5 回古賀市スポーツ推進審議会【環境部会】 会議録  
(要約筆記)

(座長)

- ・平成 30 年度第 5 回古賀市スポーツ推進審議会環境部会を始める。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・「基本目標 3 気軽にスポーツ参画できる環境の構築」について、「参画」という言葉が適切かどうか考えたい。参画は、計画段階から事業に加わることであり、参加は集まりなどに加わることである。
- ・参加は、「いつでも、どこでも、誰とでも」運動ができるイメージがある。
- ・「めざす姿」を記載するとき、主語があった方がいいのではないか。
- ・中・長期の取組内容に「公平で分かりやすいスポーツ環境づくり」とある。「幅広い年齢層や障がい者がスポーツに親しめるスポーツ環境づくり」としてはどうか。
- ・基本目標を「気軽にスポーツができる環境の構築」、めざす姿を「誰もがスポーツを実施しやすい環境づくり」としてはどうか。

(事務局)

- ・中・長期の取組内容の「公平で分かりやすいスポーツ環境づくり」は、現在利用団体も多く一部の団体が長時間利用し占有しているような状況に見られることもある。多くの市民がいつでも利用できる環境づくりをめざして記載したものである。

(座長)

- ・この言葉だけでは伝わらないのではないか。
- ・「より多くの市民や団体が活動しやすい環境づくり」としてはどうか。
- ・短期の取組に「幅広い年齢層や障がいの有無に関係なくスポーツに親しめる環境づくり」を加えてはどうか。

(事務局)

- ・「4 スポーツのユニバーサルデザイン」に記載されている事と重なるのではないか。

(委員)

- ・「1 スポーツ施設の有効利用」の中・長期目標について、「市民が安心かつ安全に利用できる施設の維持管理」とした方がいいのではないか。

(座長)

- ・「2 効果的な情報提供」について、「旬な」という表現はどうだろうか。
- ・「冬だったら、このようなスポーツをしよう」という受け止め方や、今であれば卓球やバドミントンが盛り上がっているスポーツなので、そのようなスポーツの話題を伝えたいのか。しかし、啓発という意味は伝わってこない。
- ・他の委員の意見も聞いてみることにする。

(委員)

- ・中・長期の取組内容に「情報の一元化」とある。短期目標の「仕組みの構築」からどうなったかを記載した方がいいのではないか。
- ・「健康づくりや親子遊び、介護予防の実施方法」などの情報をまとめることを「一元化」ではない表現がいいのではないか。
- ・今まで、いろいろな課が単発的にイベントの情報などを流していたものを、まとめることで情報を得られるようにしたら見る人も増えるのではないかという考えだと思う。
- ・情報の「伝え方・手段」と「内容」について、混在して表現してあるのではないか。

(事務局)

- ・情報に関すること、全部を捉えられる表現となっている。

(委員)

- ・それでは分かりにくい。2つに分けているのであれば、1つは伝え方について、もう1つは内容について記載した方がいいのではないか。

(座長)

- ・中・長期の取組内容は「何をめざしたいのか」を記載した方がいいのではないか。